

再評価実施事業調書

番号	4	事業名	社会資本整備総合交付金(河川事業)		路線又は箇所名等		一級河川利根川水系 桑納川・石神川		
事業所管課		河川整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成10年度	用地着手年度	平成10年度	工事着手年度	平成10年度	再評価の理由	再々評価		
				工事終了(認可)年度	平成49年度				
費用便益比 B/C	1.2 (8.9)	総費用 (現在価値)	108.4億円 (11.6億円)	総便益 (現在価値)	130.2億円 (103.3億円)	基準年	平成28年度	供用開始年度	平成49年度

※上段：全体事業費 下段()：残事業費

【事業概要】

(目的)

桑納川・石神川では、市街化の進展、土地利用の変化による保水能力の低下などにより、台風や豪雨により周辺地域への浸水被害が頻発している。平成8年の台風による浸水被害では、河川災害復旧助成事業が採択され、河床掘削や築堤等を木戸川合流点下流区間で実施した。

流域内では、都市再生機構による土地区画整理事業が行われており、今後も、桑納川・石神川への流出量の増加が見込まれることから、早急に治水安全度の向上を図る必要がある。

(主な実施内容)

- ・改修延長 L = 3, 152 m
- ・掘削築堤 L = 2, 552 m
- ・調節池 2箇所
- ・用地 A = 124, 968 m²
- ・道路橋 10橋

【事業の進捗状況】(H28年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	72.5	61.2	11.4	84.3

【社会経済情勢等】

① 流域状況

本流域は、首都圏への通勤圏に位置し、土地区画整理事業により宅地開発が進んでおり、流出量の増加が見込まれることから、治水安全度の向上が急務である。氾濫区域には、現在、都市再生機構が実施している土地区画整理事業区域をはじめ、主要地方道 船橋印西線、千葉鎌ヶ谷松戸線などの交通網を含み、水害発生時の被害、社会的影響が極めて大きい地域である。

② 主な水害状況

- ・台風11号(平成5年8月) 浸水面積 73.8ha 浸水家屋 116戸
- ・台風17号(平成8年9月) 浸水面積 82.2ha 浸水家屋 135戸

③ 投資効果

[裸書:全体事業、():残事業]

- ・浸水世帯 9世帯(0世帯) ・浸水面積 5.8ha(0.3ha)

④ その他

- ・一級河川利根川水系 手賀沼・印旛沼・根木名川圏域河川整備計画の策定 H19.7.10
- ・坪井・西八千代北部地区土地区画整理事業(H8~H28 予定)

【対応方針(案)】

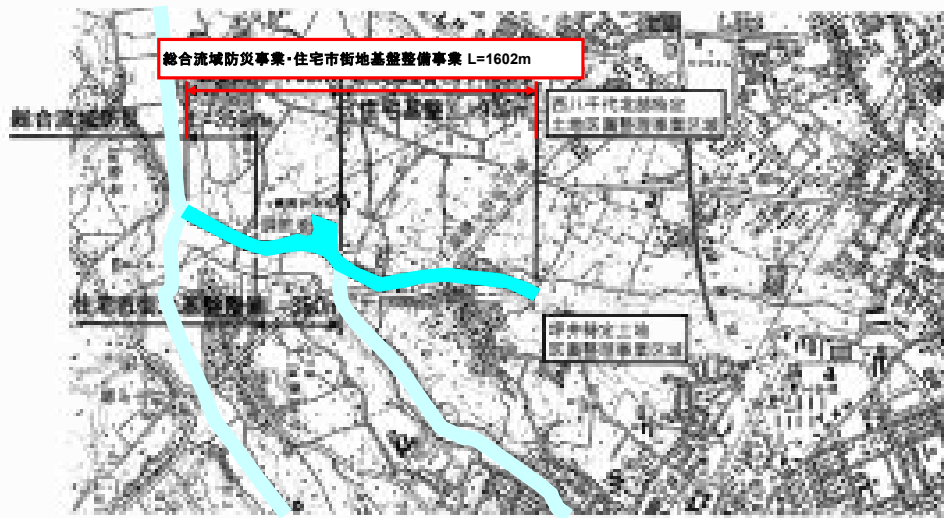
桑納川・石神川流域では、市街化の進展により流出量の増加が見込まれ、さらに本治水事業が流域内の土地区画整理事業と密接に関連しており、また、全体事業費の費用便益(B/C)は2.0(残事業2.1)となり、事業の投資効果も見込まれることから、事業を「継続」し、計画的な事業の推進を図る。

事業概要図

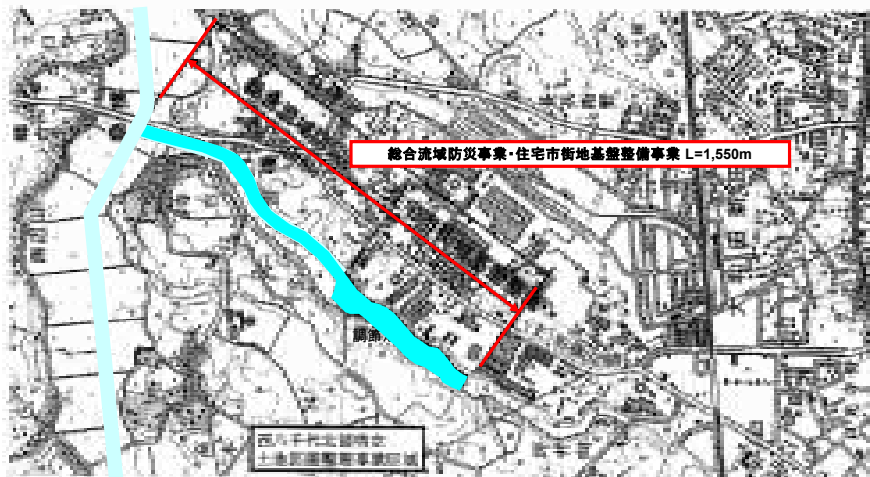
番号	4	事業名	社会資本整備総合 交付金(河川事業)	路線又は 箇所名等	一級河川利根川水系 桑納川・石神川
----	---	-----	-----------------------	--------------	----------------------

計画平面図

桑納川

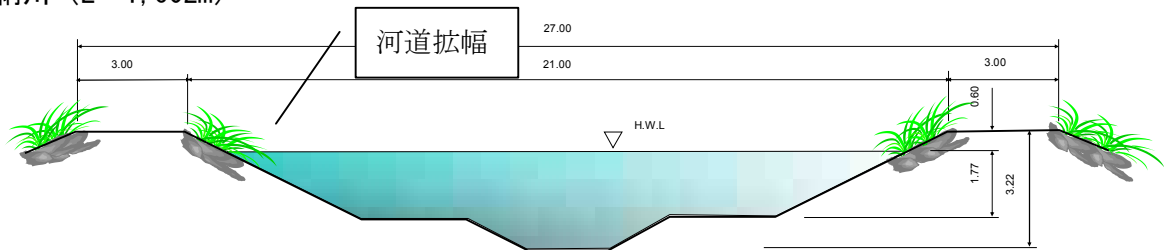


石神川

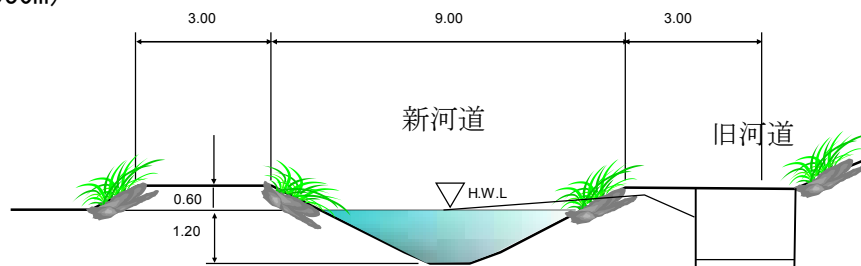


標準横断面図

●桑納川 (L=1,602m)



●石神川 (L=950m)



再々評価事業に関する調書

番号	4	事業名	社会資本整備総合 交付金(河川事業)	路線又は 箇所名等	一級河川利根川水系 桑納川・石神川
事業化年度	平成 10 年	用地着手年度	平成 10 年	工事着手年度	平成 10 年

【再評価 (H23 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 23 年度	供用開始年度	平成 25 年度	対応方針	継続
B/C	2.9	総費用	43.4 億円	総便益	126.1 億円

(裸書 : 残事業)

再評価時の委員会の意見及び当時の状況
○継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定の 5 年後の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H22)	3 年後進捗 (H25)
事業費	91.90 億円	48.67 億円 (53.0%)	91.90 億円 (100%)
うち用地・補償費	39.95 億円	15.74 億円 (39.4%)	39.95 億円 (100%)
うち工事費	51.95 億円	32.93 億円 (63.4%)	51.95 億円 (100%)

【再々評価 (H28 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 28 年度	供用開始年度	平成 49 年度	対応方針	継続
B/C	8.9 [1.2]	総費用	11.6 億円 [108.4 億円]	総便益	103.3 億円 [130.2 億円]

(裸書 : 残事業、[] : 全体事業)

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H28 末見込み)
事業費	72.54 億円	61.16 億円 (84.3%)
うち用地・補償費	17.72 億円	17.72 億円 (100%)
うち工事費等	54.82 億円	43.44 億円 (79.3%)

再評価後の
経過
及び
処理状況

平成 24 年 3 月 第 7 回手賀沼・印旛沼・根木名川圏域流域懇談会
事業再評価「継続」